

マーケットの動き（2024年2月5日～2月9日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。米国経済指標の上振れにより米国の早期利下げ観測が後退し海外金利が上昇する中、国内金利も上昇しました。しかし、8日の金融経済懇談会で内田日銀副総裁が想定より金融政策正常化に前向きな姿勢を示さず、金利上昇幅は限定的となりました。クレジット市場は、新発債の供給が限られているほか、マイナス金利解除後の金利上昇幅は限定的になるとの見方があり、引き続き堅調な展開となりました。

投資環境見通し（2024年2月）

国内長期金利はレンジ内での動き

年初の能登半島地震の影響から、日銀が早期に政策変更を行うとの見方は一旦後退しましたが、4月にゼロ金利政策の解除を行うとの見方も残ることから、国内長期金利は当面はレンジ内で推移するとみています。

	2月9日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.72	0.04	0.13	0.14	0.23
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	366.24	▲0.41%	▲0.91%	▲1.20%	▲0.24%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202402_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2023年1月31日～2024年2月9日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年1月31日～2024年2月9日）



※2023年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成